

# 食品衛生情報 ふくおか

発行所  
公益社団法人 福岡県食品衛生協会  
電話 092-472-4803 FAX 092-472-6613  
e-mail:honbu3@fukuokaken-shokkyou.jp

令和4年1月24日(月) 2021年度第10号  
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目 19-17  
トーカン博多第5ビル 705号  
ホームページ: <http://www.fukuokaken-shokkyou.jp>

## ～食物アレルギーを取り巻く現状(その1)～

(出典: 食と健康 2021年10月号 一部加工)

食物アレルギーの表示が義務化されてから、20年が経ちました。しかし、残念ながら誤食や表示ミスといった事故が後を絶ちません。

そこで今回、食物アレルギーがある人の誤食事例やアレルギー表示ミスが原因となった食品回収事例を参考にしながら、食を取り巻くアレルギー事情について、3回に分けてお伝えします。

### ○食物アレルギーとは

食物に含まれる特定のタンパク質を「異物」として認識し、体の中で過剰な防御反応が起こって発症することを食物アレルギーといいますが、食べるだけでなく、吸い込んだり接触したりしても発症します。

症状は、「かゆみ・じんましん」「唇の腫れ」「まぶたの腫れ」「嘔吐」「呼吸困難」など様々です。「意識がなくなる」「血圧が低下してショック状態になる」などの重篤な症状を呈する場合もあり、緊急対処が間に合わなければ、死に至ることもあります。

### ○食物アレルギーの表示とは

食物アレルギーの表示には、食品表示基準で表示が「義務化」されているものとして、えび・かに・小麦・そば・卵・乳成分・落花生(ピーナッツ)の7品目(特定原材料)があり、通知で表示が「推奨」されているものとして、アーモンド・あわび・いか・いくら・オレンジ・カシューナッツ・キウイフルーツ・牛肉・くるみ・ごま・さけ・さば・大豆・鶏肉・バナナ・豚肉・まつたけ・もも・やまいも・りんご・ゼラチンの21品目(特定原材料に準ずるもの)があります。

### ○消費者がアレルゲンを想定できず表示を見落としした事故事例

消費者が商品に「アレルゲンが含まれている」と想像できず、ラベルに表示されているにもかかわらず、見落としした事例

#### 事例1 ラベルに「卵」と表示されていたが、消費者が見落とししたココア飲料

保護者がココア飲料を購入し、「卵」アレルギーのある2歳の子どもに飲ませたところ、じんましんを起こしました。ココア飲料のラベルには、「ココアパウダー、砂糖、全粉乳、乳糖、カカオマス、小麦粉、ショートニング、卵、コーンシロップ、ぶどう糖、カラメルシロップ、食塩」と表示されていましたが、同様の他社製品に「卵」が含まれていないものが多数ありました。そのため、消費者は「卵」に注意を払っておらず、表示されているのを見落とししていました。(裏面に続く)

## 事例2 焼き豚で魚介類アレルギー

### 事故の概要

焼き豚に「カツオエキス」が使われているのに気づかず、「魚介類」アレルギーのある19歳の方が原材料表示を見落としのまま購入し、誤食しました。それにより、喉のかゆみが起こり、顔が腫れました。

「カツオ」は義務表示、推奨表示のどちらにも含まれませんが、魚介類がアレルゲンとなっている人の中には、事例のように、カツオ由来の出汁で発症する人もいます。

### 消費者の状況

患者の家族は「本人がいつも気にしていた表記は『かつおだし』『かつお出汁』でした。『鰹エキス』の『鰹』を『かつお』と読めなかった可能性もある」と指摘していました。

なお、焼き豚のラベルには「豚バラ肉、醤油、砂糖、鰹エキス、調味料（アミノ酸等）、リン酸塩（Na）、カラメル色素、香辛料（一部に卵、小麦を含む）」とあり、表示に問題はありませんでした。

### ○事故の原因

1、2の事例は表示ミスではないため、事故事例として公的な記録などに残ることはあまりありません。しかし、食物アレルギーのある人にとり「よくある経験だ」ということを知っていただきたいと思います。

エキス類、タンパク加水分解物に含まれているアレルゲンについて、「勘違い」「見落とし」による患者の発症経験がよく話題にのぼります。（次号に続く）

## ～福岡県からのお知らせ～

### 福岡県”One Health”国際フォーラム2022

### が開催されます

新型コロナウイルス感染症をはじめとする人獣共通感染症などに対して、各分野の世界トップクラスの研究者がワンヘルスアプローチにより解決していくことを目指し、研究成果などを世界に向けて発信する福岡県”One Health”国際フォーラムが令和4年2月12日、13日に福岡アイランドシティフォーラムで開催されます。

ペットと一緒に暮らすことを推奨している高齢者施設「タイガープレイス」を設立されたミズーリ大学名誉教授のレベッカ・ジョンソン氏、世界的ベストセラー「スピルオーバー」の著者のデビット・クワメン氏による基調講演に加え、日本医科大学臨床教授の李卿氏による県民講座「ワンヘルスにおける森林医学～健康は森から～」も開催されます。

ワンヘルスのことを知る絶好の機会です。是非会場にお越しください。

※事前登録制、参加費無料

※詳しくはホームページをご覧ください。

<https://one-health-fukuoka2022.com>